

富山県宇奈月町からのナガレタゴガエルの記録

著者	南部 久男, 荒木 克昌
雑誌名	富山市科学文化センター研究報告
号	20
ページ	113
発行年	1997-03-25
URL	http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&item_id=679

短 報

富山県宇奈月町からのナガレタゴガエルの記録*

南部 久男
富山市科学文化センター
〒939富山県富山市西中野町1-8-31

荒木 克昌
アースコンサル (株)
〒930-01富山市呉羽町3078-117

ナガレタゴガエルは、関東、中部、近畿地方の低山の森林帯に生息するが（前田・松井，1989），富山県での記録は少なく，今回，宇奈月町で確認されたので報告する。

アカガエル科 Ranidae
ナガレタゴガエル
Rana (Rana) sakuraii Matsui et Matsui,1990

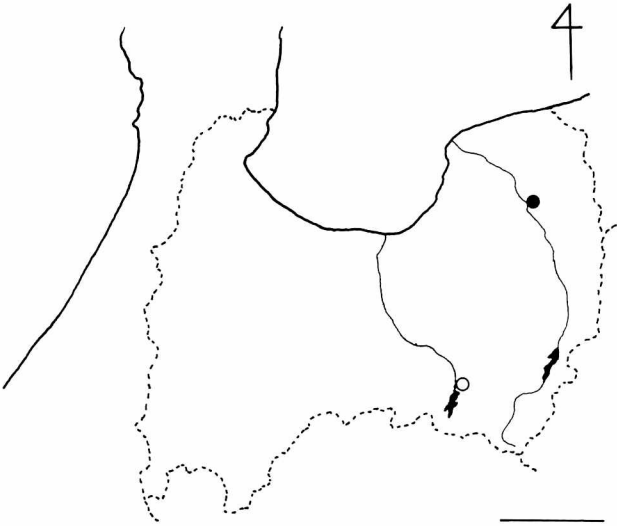


図 1. 富山県におけるナガレタゴガエルの記録
●宇奈月町の新産地，○大山町有峰の既知産地（南部ほか，1996）。棒線は，20 kmを示す。

標本登録番号：TOYA Am 2035（オス）
採集年：1995年12月1日
採集場所：富山県宇奈月町宇奈月黒部川弥太蔵谷下流（図 1）。標高220m。谷の幅約 4 m。底質は礫で，橋桁周辺の水深約40cmの深みで，遊泳中のところを発見された。午後 3 時の気温は2.2℃，水温5.5℃であった。
計測値：体長49.4mm
採集者：荒木克昌

本種の富山県での記録は，富山県西部の福光町と利賀村の標高450-1100m（湯浅，1994；地点は示されていない）と，富山県南部の大山町有峰東坂森谷の標高1000mの地点で，1993年10月 6 日に，落ち葉の下から体長39.4mmのオス 1 個体（TOYA Am 1879），幼体 2 個体（Am 1880，体長11.0mm；Am 1881，体長11.7mm）が確認されている（南部ほか，1996）。今回，県東部の山地からも確認されたことより，本種は富山県内の山地に広く生息すると推察される。今回の確認された地点の標高220mは，現在のところ富山県では，最も低い記録である。

本種は，関東，中部，近畿地方の低山の森林帯に生息し，秋期に水中の岩の下で越冬し，繁殖期に水温 4℃以上になると繁殖活動が始まるらしい（前田・松井，1989）。今回確認した例は，冬期に水中で発見されたことより，繁殖のため水中に入ったものと思われる。湯浅（1994）は，秋に採集した個体が飼育下で繁殖を行ったことを報告しているが，富山県では野外での繁殖は現在のところ確認されていない。

参考文献
前田憲男・松井正文，1989. ナガレタゴガエル. 日本カエル図鑑：68-71. 文一総合出版. 東京.
南部久男・福田保・堺康浩，1996. 有峰の両生類，爬虫類. 「常願寺川流域（有峰地域）自然環境調査報告」（富山市科学文化センター）344pp.：277-285.
湯浅純孝，1994. *Rana* 属 2 種のカエル. グルーミング 5(1)：98-101.

* 富山市科学文化センター研究業績第189号